

受益者のみなさま

ブラックロック・ジャパン株式会社

投資信託約款の変更（投資態度の明確化）について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は弊社の投資信託に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、弊社が設定・運用している「ブラックロック・ガバナンス・フォーカス・ファンド」および「ブラックロック・ガバナンス・フォーカス・マザーファンド」（以下、「当戦略」といいます。）につきまして、下記の通り投資信託約款および目論見書の記載を変更いたしましたのでご案内いたします。

今後もお愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 対象ファンド

- ・ブラックロック・ガバナンス・フォーカス・マザーファンド
- ・ブラックロック・ガバナンス・フォーカス・ファンド

2. 変更の内容

(1) 投資信託約款における投資態度

	変更前	変更後
投資態度	ポートフォリオの構築に当たっては、投資対象企業の経営・財務分析を行ない、長期的な成長戦略および安定的で優れた企業統治（ガバナンス）力を持つ企業の株式を厳選し、中長期的に投資します。	ポートフォリオの構築に当たっては、投資対象企業の経営・財務分析を行ない、長期的な成長戦略を持ち、かつ企業統治（ガバナンス）力に優れた、あるいは企業統治力が改善傾向にあると判断した企業の株式を厳選し、中長期的に投資します。

(2) 目論見書における主な変更箇所

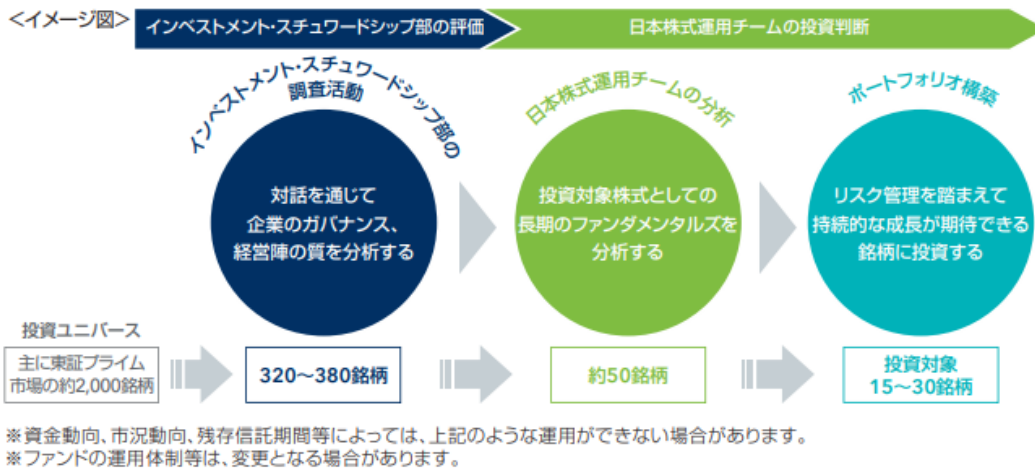
	変更前	変更後
ファンドの特色2	優れた企業統治（ガバナンス）力を有すると判断した企業の中から、長期ファンダメンタルズ分析を行い、厳選投資します。	優れた企業統治（ガバナンス）力を有し、あるいは企業統治力が改善傾向にあり、長期ファンダメンタルズ分析の面からも魅力度が高いと判断した企業へ厳選投資します。

運用体制・運用プロセス	インベストメント・スチュワードシップ部による企業のガバナンス調査を踏まえ、 <u>日本株式運用チームにおいて長期ファンダメンタルズ分析を行い、投資候補銘柄を絞り込みます。</u>	インベストメント・スチュワードシップ部による企業のガバナンス調査を踏まえ、 <u>日本株式運用チームにおいてガバナンスの視点での分析および長期ファンダメンタルズ分析を行い、投資候補銘柄を絞り込みます。</u>
-------------	---	--

プロセス図（変更前）

運用体制・運用プロセス

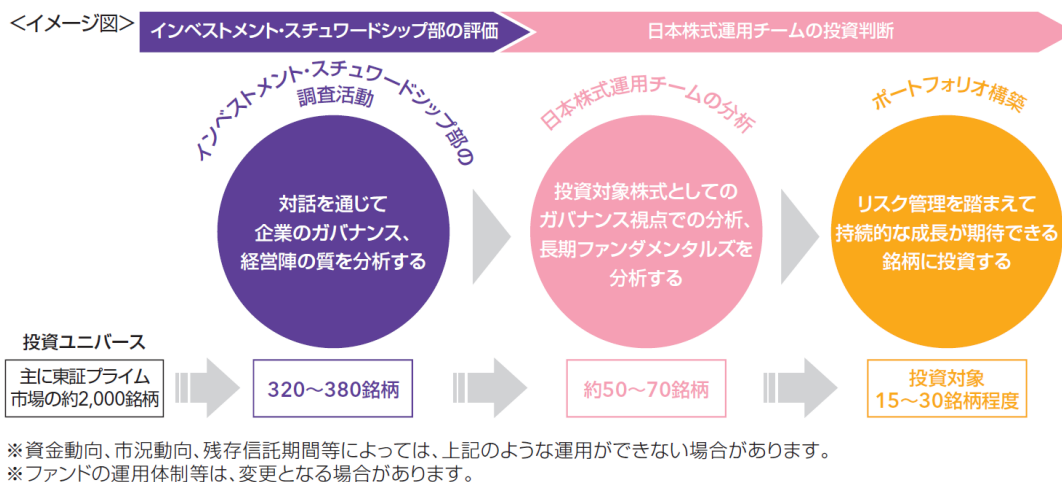
- ・インベストメント・スチュワードシップ部による企業のガバナンス調査を踏まえ、日本株式運用チームにおいて長期ファンダメンタルズ分析を行い、投資候補銘柄を絞り込みます。
- ・企業価値の成長が期待できる銘柄でポートフォリオを構築し、中長期で保有します。



プロセス図（変更後）

運用体制・運用プロセス

- ・インベストメント・スチュワードシップ部による企業のガバナンス調査を踏まえ、日本株式運用チームにおいてガバナンスの視点での分析および長期ファンダメンタルズ分析を行い、投資候補銘柄を絞り込みます。
- ・企業価値の成長が期待できる銘柄でポートフォリオを構築し、中長期で保有します。



3. 変更の理由

当戦略の運用開始時は、日本株式運用チームが主に長期ファンダメンタルズ分析を、インベストメント・スチュワードシップ部が企業のガバナンス調査を担っておりました。

しかし、日本株式運用チームにおける運用/調査体制の拡充やガバナンスを評価することの重要性が従前にも増して高まっていることもあり、現在は、インベストメント・スチュワードシップ部のみならず、日本株式運用チームにおいても独自の視点でガバナンスの分析を行い、当戦略におけるガバナンス評価体制をより強化すべく取り組んでおります。

また、インベストメント・スチュワードシップ部および日本株式運用チームにおけるガバナンス力の評価では、優れたガバナンスのもと経営を行っているかだけでなく、ガバナンス力が更なる改善傾向にあるかどうかといった短中期的な方向感も評価基準の一つとして加味した評価を行っております。

これらの状況を勘案し、ガバナンス評価に係る運用体制・運用実態をよりわかりやすく反映するよう投資信託約款や目論見書上における記載を変更・明確化することにより、適切であると判断いたしました。

4. 変更適用日

2023年5月27日

以上